

学校評価シート（自己評価）

愛隣 幼稚園

1、園の教育目標

「つよい体やさしい心の子どもに育てる」を学園理念とし、総合的な経験や具体的な活動を通して情緒の安定した安全な生活を送り、心身の健全な発達を図る。

子育て付加事業により、保育者の思いをサポートしながら、子育て環境の活性を図り社会的役割を果たす。

- 一、心身共に健康で明るい子ども
- 一、がまん強く、頑張りのきく逞しい子ども
- 一、優しく素直で、思いやりのある子ども
- 一、ご挨拶の出来る子ども

2、具体的な目標や計画

- ・週案や月案などを作成し「ねらい」や内容がより着実に達成できるよう、その一日の保育の流れを確認整理をする
- ・生活や遊びを通して子どもと触れ合い、子どもと好ましい人間関係を築く

3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
教育課程・指導計画が作成されているか	B	保育者が指導計画の大切さをよく理解しておけるように、作成や内容を検討してきた。活動については、子どもの現況や天候も考慮する必要がある。
教職員間で諸会議が適切になされているか	A	連絡事項・伝達は小さなことでも職員会議にあげ、全職員で共有できた。職員一人ひとりとのコミュニケーションを図り、現状を把握している。
子どもとの信頼関係の確保に努めているか	A	一人ひとりとスキンシップをたくさんとり関わっていく中で、少しの変化に気付くことができた。 限界を決めずにたくさんの事に挑戦し一緒に共有した。
環境整備・天候を考え一日のクラス活動を日々どう取り組んでいくか	B	整理整頓を心掛け、保育室をきれいに保ち、天候によっては机を片付け、安全に配慮している。 子どもたちにも使ったものはしっかり片付けるように声掛けを見届ける。
(連携施設) 乳児組との関わり	B	乳児と幼児の保育カリキュラムが違う中でも一緒に遊ぶ時間や幼児のクラスの保育に参加する日を増やし関わりを持っている。

4、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	<p>子どもたち一人ひとりの発達を意識しながら言葉掛けをし、褒めて伸ばすことに気を付けてきた。子どもと同じ目線に立ち一緒に遊んだり考えたりし、信頼関係を築くことができた。</p> <p>環境整備では安全な生活が送れるよう常に点検を心掛け、保育活動の中で起こりうる危険性についても話し合いを行っている。</p>

○結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
指導計画・日誌の作成、記入の仕方	<p>保育のねらいや子どもの興味・関心を実現するために、バランスよく必要な環境の構成をすること。</p> <p>保育者によって書き方が違い、内容の書き方を職員で共通理解をする。</p>
行事の内容 行事費の改定	個々の行事について教職員と十分に話し合い、必要に応じ見直しを行う
預かり保育の保育環境	<p>子どもの生活リズムに配慮しながら、子どもに無理なく実施する。</p> <p>人数に合わせた環境構成と静かに過ごせる工夫も必要である。</p>